

3 チェック表からみえる各施設の事例

チェック表で確認を行った施設から事例をご提供いただき、項目ごとに掲載しています。
チェック表での見直しや、今後の計画について検討する際の参考としてください。

1 体制整備

項目・及び留意点

※斜体の留意点は事例をご提供いただいた施設でチェック票の留意点からさらに追加した項目の事例です

施設の種別ごとの

災害時の対応事例

※【共通】・・・全施設で共通して見られた事例

① 防災計画の作成・見直し

- ・防災計画担当課名が記載されている
- ・防災計画を協議する会議名が記載されている
- ・会議の構成員を決めている



【共通】防災計画を協議する会議を定例開催している

定期的に防災に関する検討の場を設け、意識の維持・向上を図っている。

～会議の開催状況（例）～

【病院】

会議名：災害対策委員会

開催頻度：月1回

- 内容：・備蓄内容の検討について
（飲料水、食料品、使い捨て容器、衛生消耗品等）
・保管場所の検討について
・治療食への対応について
・被害状況に心じた給食の対応方法について

構成員：事務長、各課担当職員

【児童福祉施設】

会議名：職員会議

開催頻度：年1回

- 内容：・備蓄内容の検討について
・非常食を児童に提供した際の反応について
・スタッフ内での備蓄食品を使った感想について
・配慮が必要な児童に対する対応について

構成員：施設長、保育主任、保育士、栄養士、調理師

【社会福祉施設】

会議名：防災委員会

開催頻度：年1回

- 内容：・マニュアル内容の再確認について
・職員連絡体制の確認
・備蓄内容の検討について
・地域との連携について
・既存の施設の活用について

構成員：生活支援員、准看護師、管理栄養士

【介護保健施設】

会議名：給食会議

開催頻度：年1回以上

- 内容：・マニュアル内容の確認について
・備蓄食品の量について
・利用者食の食形態との関連性について

② 防災計画における給食の対応

- ・災害時の給食の対応に関するマニュアルが作成されている
- ・施設の被災状況別に対応が決められている
- ・災害が発生してから給食を提供するまでの流れが明確になっている



【共通】災害時の給食対応マニュアルを作成している

～マニュアルの内容（例）～

【病院】

- ・フェーズ0～3までの対応について
- ・緊急時職員連絡網
- ・災害時給食献立表（5日分）
- ・備蓄食品管理表
- ・備蓄食品取り扱い方法・説明書
- ・厨房内見取り図
- ・施設・設備の被災状況記録シート
- ・栄養科職員の行動マニュアル

【社会福祉施設】

- ・職員連絡網と緊急参集までの流れ
- ・災害発生から給食提供までの流れ
- ・利用者の基本情報リスト
（疾病状況、食形態、食事で配慮が必要な事、担当医 等）
- ・備蓄食品配布計画

【介護老人保健施設】

- ・職員連絡網
- ・厨房被災状況点検シート
（ライフライン復旧までの対応も一緒に明記）
- ・災害時の食事・配膳方法について
- ・各関連業者の連絡先
- ・給食業務委託スタッフの対応
- ・備蓄食品リスト（内容・量・保管場所等について）
- ・災害時給食献立表

【共通】被害状況に応じた対応について決めておく

災害発生後のあらゆる被害状況について想定し、対応方法を検討している

- 参考事例 ①給食従事者②喫食者の個別把握対応計画
③食品等備蓄 ④備蓄計画（食品以外）

② 防災計画における給食の対応

- ・災害時の給食の対応に関するマニュアルが作成されている
- ・施設の被災状況別に対応が決められている
- ・災害が発生してから給食を提供するまでの流れが明確になっている



③ 給食を提供する人の体制

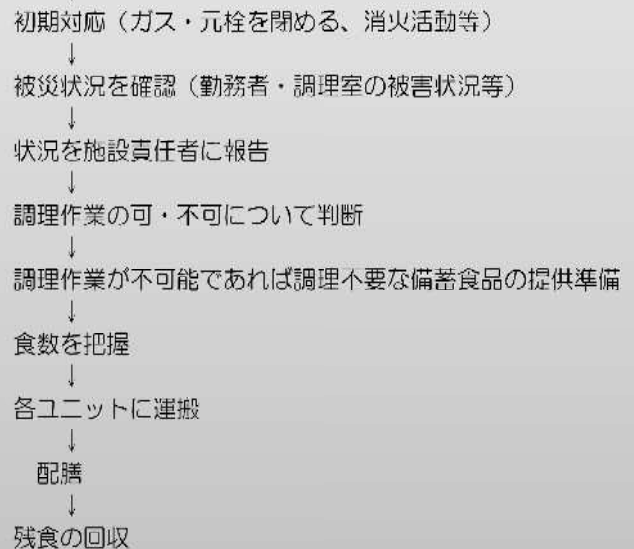
- ・対応基準や人数を決めている



【病院】給食提供決定までの流れをフローチャートで示している

災害が発生してから、給食を提供するまでの流れをフローチャートにして示している。

(例) 災害発生



【病院】施設の状況把握を行う為の把握シートがある

防災計画には給食の対応として、施設の状況把握を行った内容によって対応を決定するようになっている。

施設状況の把握を担当する職員は、災害時状況把握シートを用いて状況把握を行う

→職員の状況確認シート

→施設の状況確認シート

(壁、天井、電話、FAX、パソコン、電気、水道、飲料水、ガス、エレベーター、備蓄食品等)

→厨房内の状況確認シート

【共通】災害発生時の勤務状況 (勤務時間内・外) に合わせた対応を決めている

災害発生時が勤務時間内の場合、勤務時間外の場合を想定し、職員の行動マニュアルを作成している。

【病院】職員の自主参集ルールを定めている

病院周囲2km圏内に住む職員は、発災時に自主参集するよう取り決めている。なお、自主参集の対象となる職員の名簿を作り、把握している。

④ 防災計画の周知・啓発

- ・周知、啓発が具体的に実施されている



【病院】避難訓練時に防災計画に関する講話を行っている

定例で開催する避難訓練の内容の中に防災計画に関する講話を組み込み、防災計画の定期的な普及啓発の場としている。

【病院】防災計画の作成担当者が周知・啓発を担当している

防災計画の作成担当者は各部署から選任されており、担当者は自分の所属する部署の職員に対し計画書の内容について周知・啓発を行うようにしている。

【社会福祉施設】定期的な会議等で周知を行っている

定期的に行う会議等で防災計画に関する内容を必ず取り上げている。定期的な会議に位置づける事によって周知が行われるようにしている。

⑤ 防災計画に係る訓練

- ・訓練の具体的内容を決めている



【共通】防災計画の中に訓練の実施について記載されている

防災計画の中に訓練の実施頻度・時期や内容等について記載されている

～訓練の内容(例)～

- ・非常食を活用した給食の提供・試食
- ・栄養部門以外の職員による非常食の調理実習
- ・災害でエレベータや配膳車が使用できない場合を想定した手渡しの食事提供訓練等

⑥ 委託している場合

- ・委託側と受託側の役割分担を決めている
- ・委託業者の計画がある

【社会福祉施設】委託業者のマニュアルを把握している

業務を委託している給食会社には、災害時の対応マニュアルがある。施設でのマニュアルの内容と整合性をもたせるために内容を把握している。

給食施設で従事している際に発災した場合は現場の指示に従って行動する事になっているため、委託業者にも施設での災害対策について周知している。

⑥ 委託している場合

- ・委託側と受託側の役割分担を決めている
- ・委託業者の計画がある

【事業所】災害時の委託業者の対応について把握している

災害が発生した際に食料の提供に関する業務を誰が担当するのかを明確にする為に、委託している給食会社が発災時にどのような契約のもと対応をするのか明確にしている。

当社と委託会社との間では備蓄食品の購入・管理については契約されているが、災害時の給食提供は契約がなく、当社職員が担当する事になっている。そのため、担当になった職員は委託業者から備蓄食品の内容・取り扱い方・保管場所などについて連絡を受けるようにしている。